

商店街の良い雰囲気を守りたい

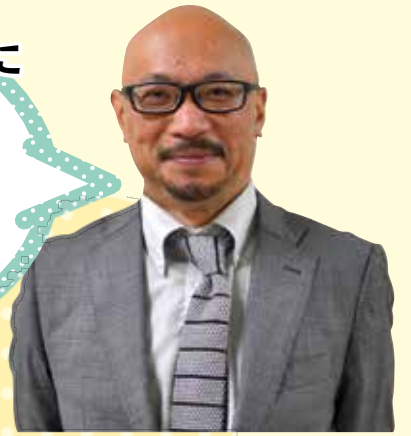
私が洋装店をしている中心商店街は、歴代の商店街の先輩たちによって培われた良い雰囲気があります。その雰囲気を私も守っていかねばと思います。現在お店に来てくださっているお客様を大切にしつつ、新しいお客様にも上通にもお店にもお越しいただきたいです!

(中央区・自営業・田原 誠也さん)

仕事のノウハウを地域のために

地震がきっかけで中央区・東区まちづくり懇話会のメンバーとして、地域の皆さんと携わるようになりました。職業上のノウハウを活かして、人と人を繋ぎ、もっと地域や社会に還元していきたいですね。

(東区・会社員・橋本 博幸さん)



地域の“美味しい”魅力発見!

地域担当職員として地域を歩く中で、ランチは楽しみのひとつです。地域の方との何気ないおしゃべりの中で、意外と知らなかった美味しいお店を発見することも!平成30年もどんどん地域に出掛けて、美味しい魅力を発見していきます。

(中央区まちづくりセンター
地域担当職員・道家 梨花)

学び多い年に

毎日たくさんの方と出会い、お話をさせていただいています!お話から学ばせていただくことが多くあります。平成30年も出会いを楽しみながら、地域担当職員としてレベルアップしていきたいと思っています。

(東部まちづくりセンター
地域担当職員・東 絵美)

熊本駅周辺の魅力発信!

再開発が進む「陸の玄関口」である熊本駅周辺がさらに賑わうよう、地域の皆さんと一緒に駅周辺を盛り上げていきます。また、昨年度までロアッソ熊本へ出向していたので、J1昇格とファン拡大を西区から応援していきます。

(西部まちづくりセンター
地域担当職員・林 慶司)

清水地域の魅力をもっと開拓したい

平成29年4月から清水まちづくりセンターに勤務しています。周辺には、くまモン電車や八景水谷公園など子どもの楽しめる場所があり、休日にも家族で遊びに来ています。今年は清水周辺の美味しいお店を開拓したいですね。

(清水まちづくりセンター
地域担当職員・春木 綾香)

出会いを大切に、 新たなことに挑戦する年に

昨年は、地域担当職員としてたくさんの出会いに恵まれ、大きく成長できた1年でした。この出会いを大切に、地域の方に愛される存在になりたいです。そして益々「元気なまち」づくりに挑戦し、ホリタ旋風を巻き起こしたいです!!

(南部まちづくりセンター
地域担当職員・堀田 優里)

「復興」そして新たなまちづくりへ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

早いもので熊本地震から2回目の新年を迎えました。震災の発生以来、今なお仮設住宅等で不自由な生活を余儀なくされている皆様方に、改めまして心からお見舞い申し上げます。

昨年は、熊本地震からの本格的な復興に向け始動する「復興元年」と位置づけ、「熊本市震災復興計画」に掲げた施策の着実な推進に、スピード感を持って全力で取り組んでまいりました。

特に、被災された方々の生活再建のために全力を挙げるとともに、市民、地域、行政、それぞれの力を結集した地域の防災力向上など、安全・安心な熊本の再生と創造に向けて取り組んできたところです。そして、よりきめ細かな地域ニーズを把握するために、市内17箇所に「まちづくりセンター」を新たに設置し、専任の「地域担当職員」を置いて、地域課題への対応も進めてまいりました。

一方で、昨年は本庁舎及び市の関連施設での火災や、職員の不幸事、議員からの不当要求等に対する個別外部監査からの指摘など、市民の皆様にご心配やご迷惑をおかけいたしました。改めましてお詫びを申し上げます。

すとともに、こうした状況に真摯に向き合い、信頼される熊本市づくりのために市役所一丸となって取り組んでまいります。

震災から2年を迎える本年は、復興への歩みを更に力強く確かなものにするため、仮設住宅等から恒久的な住まいへの移行支援をはじめとした被災者支援に引き続き最優先で取り組むとともに、熊本城復旧や市民病院の再建、地域経済をけん引する中心市街地の再開発など、将来にわたって活力のある新しいまちづくりの礎を築いてまいりたいと決意を新たにしております。

皆様方におかれましては、本市市政運営に対しなお一層のご支援ご協力を賜りますとともに、今年一年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



熊本市長 大西一史